

# 社協だより

令和7年8月15日 (第161号)

発行者  
 社会福祉法人  
 高山村社会福祉協議会  
 TEL 242-1220  
 FAX 242-1222  
 印刷所  
 (株) オフセット

## 世代間交流 七夕飾り作りを開催



参加者全員の皆さんと記念撮影



七夕の由来のお話



飾り付けを行う親子



願い事を書いた短冊を笹に飾り付け

7月2日(水)、高山村社会福祉協議会では世代間交流事業として、更生保護女性会及びシニアクラブ連合会女性委員の皆さんのご協力をいただき、子育て支援センターを利用する親子の皆さんと「作って飾ろう！七夕さま」を開催しました。

最初に、子育て支援センター職員から、七夕の由来のお話を聞いた後、それぞれ4テーブルに分かれ七夕飾り作りを行いました。今年12組24人の親子が参加し、網飾り(天の川)や吹き流しなどを作り、願い事を書いた短冊とともに笹に飾り付けを行いました。

参加したお母さんからは「自分で色々やれたがる年齢になったので、絵を書いたりハサミを使ったり、大変いい経験ができました」「親子で七夕を作る機会がないので、貴重な体験ができました」、更生保護女性会の皆さんからは「お母さんに、飾り付けのアイデアが色々あって良かった」「子どもから手が放せないで、子どもの世話で七夕を作るのが大変そうでした」などの声が聞かれました。

最後に参加者の皆さんと記念撮影し、帰宅する際には、飾り付けした笹を持ち帰りました。

### 主な掲載記事

社協の決算	2
事業所紹介 「デイサービスセンター」	3
小学生サバイバルご飯作り	3
社協の役職員紹介	3
ふれあい外出支援事業	4
独り暮らし高齢者の料理教室	4
社協からのお知らせ 他	4



社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で発行されています。

# 令和 6 年度 社協収支決算の概要

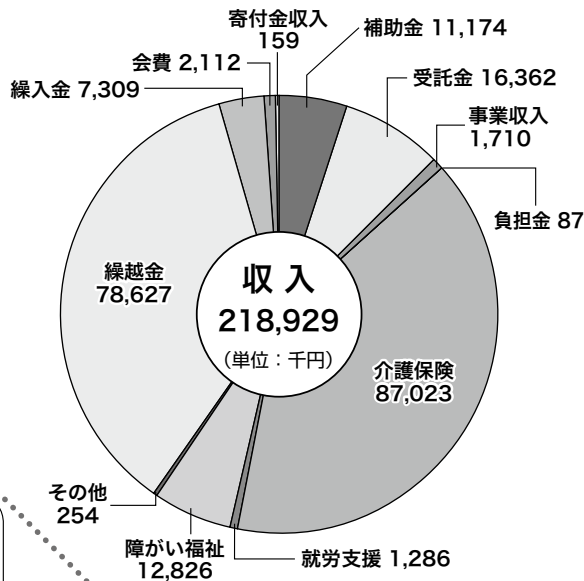
令和 7 年度第 1 回理事会及び定時評議員会を 6 月に開催し、令和 6 年度事業報告、一般会計資金収支決算が原案どおり承認されました。

令和 6 年度の収入総額は 2 億 1,892 万 9 千円で、前年度に比べて 1,910 万 1 千円の減となりました。

一方、支出総額は 1 億 5,876 万 8 千円で、前年度に比べて 63 万 5 千円の減となりました。

今後も「誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けるために」利用者の立場に立ち、満足の得られる地域福祉サービスに努めてまいります。

## 収入の状況



## 支出の状況

### ◆就労継続支援 B 型事業所

一般就労が困難な方を対象に、働く場を提供し、知識及び能力向上の訓練を実施しました。  
・年間開所日 …………… 240 日  
・利用延べ人数 …………… 1,681 人

### ◆フラワーセンター

B 型通所者及び共同作業所の就労訓練の場として花鉢等を栽培し販売するほか、村内の花いっぱい運動事業へ苗を供給しました。  
11,610 鉢販売

### ◆高齢者福祉センター 管理運営事業

村内の高齢者の皆さんに交流や入浴等のため施設を利用して頂きました。  
・高齢者センター  
開所日 …………… 347 日  
利用延べ人数 … 10,551 人  
(7 月～9 月熱中症対策により無料開放)

### ◆総合事業

デイサービスセンター内「あらぎクラブ」において、送迎により運動、レクリエーション、入浴・食事等のサービスを提供しました。  
・開所日 …………… 250 日  
・利用延べ人数 … 1,608 人

訪問介護等  
466

### ◆通所介護事業

デイサービスセンターにおいて、送迎により、入浴、機能訓練、レクリエーション、食事等のサービスを提供しました。  
・年間稼働日数 …………… 305 日  
・利用延べ人数  
介護保険 …………… 6,181 人  
生活介護 …………… 279 人

### ◆法人運営事業

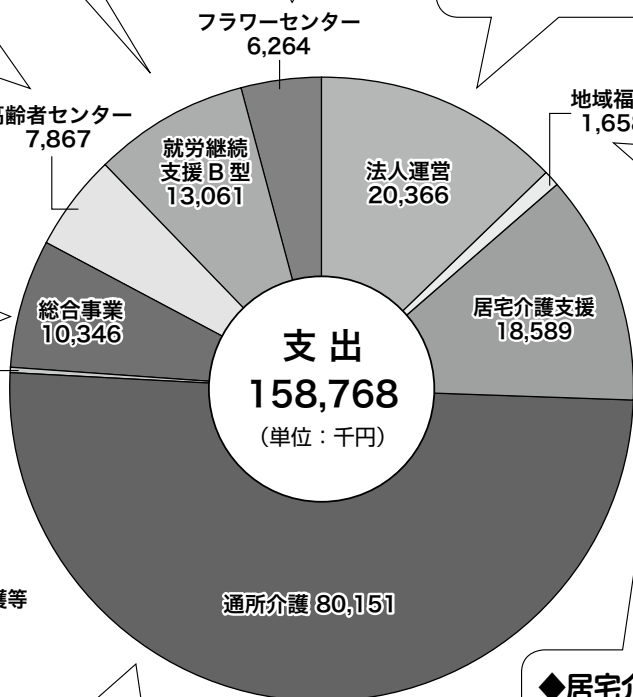
社協の適正運営及び組織体制の充実を図るとともに、職員の専門性を活かし、資質向上に努めました。

### ◆地域福祉推進事業

- ・ボランティア育成支援
- ・サロン事業支援
- ・金銭管理、財産保全サービス
- ・福祉団体育成
- ・福祉輸送サービス
- ・結婚相談
- ・くらしの資金、生活福祉資金貸付など

### ◆居宅介護支援事業・相談支援事業

ケアマネジャーが利用者や介護家族の状況、希望を総合調整し、適切な介護サービス計画(ケアプラン)を作成し、在宅介護を支援しました。  
・ケアプラン作成件数 …………… 1,319 件  
・障がいサービス計画作成件数 … 10 件



介護報酬請求システム等リース料

## 事業所紹介②

### デイサービスセンターは、

在宅で介護を必要とされている方に対し、日帰りの介護サービスを行い、日頃から介護をされているご家族の身体的・精神的な負担軽減を図り、住み慣れた地域で安心して生活できるようにお手伝いをさせていただきます。

特に本施設では天然温泉に入浴できることで喜ばれています。

利用者の皆さんの感想を紹介します。

### お風呂について

・やっぱり天然温泉だから気持ちいい、最高！他の所もいろいろ行っているけど、ここが一番いい。ここに来たくてしょうがない。

(Y様)

・丁度いい湯加減にしてくれて良い。お風呂上りに手が届かない背中まで服を整えてくれてありがたい。

(H様)

・風呂に座って入れるのが楽で、いい塩梅だ。

(T様)

### 昼食について

・量が丁度いい。こっこの要望をすぐ聞いてくれる。おかげがいいと言いつつよく作ってくれる。

(Y様)

・ごはんの量も丁度良くていい。

(H様)

・昼食は美味しい、たまにひんべや焼鮭など色々メニューがあつて良い、お豆は美味しかった、たまに量が多い時もあるが毎回楽しみにしている。

(T様)

### その他

・体操をしてくれるのが良い。

(T様)



昼食を楽しむ利用者の皆さん

## 小学校わくわく村

### サバイバルご飯作り

7月12日(日)、高山小学校わくわく村と高山村社会福祉協議会の共催で、小学生サマーチャレンジ「災害ボランティア講座・サバ飯体験教室」を防災資器材備蓄倉庫で開催しました。

最初に、村総務課危機管理防災係の担当者から、備蓄倉庫内の案内を受けた後、いざ

### デイサービスセンターを見学してみませんか

どんなことでも初めての試みは不安や分からない事がいっぱいあります。また、頭の中で考えている事と実際とは異なることも多いはず。まずはデイサービスセンターがどのようなものか見学してみませんか。

※見学を希望される方は、事前に連絡をお願いします。(随時可能) ご本人はもちろん、ご家族の方も見学できます。

### お問い合わせ先

デイサービスセンター  
☎242-1221

担当 上野・坂田

という時に、調理器具が無くてもご飯が炊けるサバイバルご飯作りをチャレンジしました。

作り方は、釜とコンロ用のアルミ缶2個と燃料用の牛乳パック3〜4パック以上を使用し、釜となるアルミ缶の上蓋を切り取り、米120gと水170ccを入れ、コンロ用のアルミ缶に牛乳パックの燃料を入れる穴と、風を送る穴をカッターで4ヶ所開け、そこへ短冊状に切った牛乳パックを投入し、燃やすことで、ご飯が炊き上がります。

## 社協役員の紹介

よろしく願います

会長 藤沢 敏和  
副会長 小林 信彦  
副会長 田中かつ子  
常務理事 黒岩 慎

### 理事

梨本 進 小出三千雄  
善哉のぶ子 涌井 富生  
小林 誠二 増田 倫弘  
大川 恵美 藤沢 邦裕

### 監事

中村 義忠 山崎 隆子

### 評議員

浦埜 愛子 小坂橋千文  
滝澤みさ枝 樋口 典子  
宮川千恵子 黒岩 道子  
齊藤 優子 渋谷 一三  
平林 祐子 山崎 泉  
本多千賀子 涌井喜美子  
牧 輝夫



サバイバルご飯を試食

燃料の牛乳パックを1本ずつ確実に投入し燃やすには、タイミングと根気が必要で、なかなか難しく苦労していました。

参加した皆さんからは「炊飯器のありがたみを感じた」「疲れた、燃料をずっと入れなくてはならないので、大変だった」「アルミ缶と牛乳パックでご飯が炊けるのがびっくりした」などの声が聞かれました。

# ふれあい外出支援事業

独り暮らし高齢者で遠くへお出かけが困難な方や、車がない等の理由で普段なかなか外出の機会がない方を対象に、地域活性ボランティアの皆さんと連携して「ふれあい外出支援事業」を、今年度からスタートしました。初回は、6月4日(水)に長野市善光寺参りと中野市一本木公園(バラ園)を見学、散策、買い物をして、楽しい時間を過ごしました。

## ふれあい外出支援に参加して

窪田 明子

6月4日好天に恵まれて、公用車にて善光寺、中野バラ公園に外出しました。善光寺で参拝して仲見世通りを散策して楽しみました。お昼にイオンタウンにて回転寿司を食し、ゆっくり休憩しました。午後はバラ公園に行き、コーラスグループに遭遇して一緒に故郷を歌ってスッキリ。バラの香りと美しさに癒されて帰路に着きました。

普段は名前もお顔も知らない人と行動を共にして楽しい外出でした。道中はボランティアの方に付き添っていたり、安心して思い出作りの旅が出来ました。



善光寺の前で記念撮影

# 独り暮らし高齢者の料理教室

6月12日(水)、保健福祉総合センターで、独り暮らし高齢者の皆さんを対象にシルバークッキングを開催しました。



メカジキの片面パン粉焼きに挑戦

最初に、村健康福祉課の担当者から、「認知症を遠ざける11の方法」についてお話を伺った後、食生活改善推進協議会の皆さんやシニアクラブ連合会女性委員の皆さんと一緒に、「ご飯・メカジキの片面パン粉焼き・小松菜と油揚げのさつと煮・夏野菜のみそ汁・果物」の5品に挑戦していただきました。

参加した皆さんからは「野菜が多くてよかった」「小松菜が少しかたかった」「夏野菜のみそ汁の味が薄いと思っ

たが、サラダ油が入って丁度よかった」などの声が聞かれました。

完成した料理は皆さんで試食し、お互い交流を深めていただきました。



上手に出来ておいしそう

## 高齢者

### 福祉センターを

#### 無料開放に

7月1日(火)から9月30日(火)までの3ヶ月間は、熱中症予防対策のため高齢者福祉センターを無料開放しています。

7月から9月までは気温が高くなり、熱中症の発生が懸念されます。エアコンの入った休憩室や休憩スペースで快適に過ごしていただき、健康保持に努めてください。

利用者の皆さんからは「今年の気温は暑過ぎる。ここにいると快適で過ごしやすさ」「風呂から上がってテレビを見るのがいいね」などの声が聞かれました。

## 日赤会費の納入

### ありがとうございました

#### びびりました

会員の皆さまからお寄せいただいた会費は、**61万9千5百円**となりました。区の役員さんを通じて納入していただき、大変ありがとうございました。

日赤会費は、地震や風水害など災害が発生した際の災害救護活動を始め、医療事業・血液(献血)事業、国際活動など、命をつなぐ9つの赤字事業に利用されています。

日本赤十字社では、引き続き活動に賛同していただける新規会員を募集しています。詳しくは高山村社会福祉協議会へお問い合わせください。

☎242-1220



本誌掲載の記事についてのお問い合わせ・申込先は、高山村社会福祉協議会まで  
☎242-1220

## 能登半島地震

### 災害義援金

502,855円

7月末までの義援金  
(義援金累計)

令和7年12月26日(金)まで能登半島地震災害義援金を受け付けています。

皆さまの温かいご協力を  
お願いたします。